

農作業受託による参入 (有限会社 アグリ楠)

〈法人の概要〉

所在地：山口県宇部市

設 立：平成 17 年 4 月 11 日

資本金：300 万円 売上高：2,000 万円（平成 25 年）

構成員（議決権）：農業従事者 2 名（90%）、建設業者（10%）

役 員：3 名（うち農作業従事 3 名）

従業員数：常時雇用者 6 名、臨時雇用者 2 名

経営面積：26.0ha（うち所有 0ha、借入 26.0ha） 基幹農作業受託面積：0ha

作付作物：米 22.0ha、小麦 7.3ha、ナス 0.3ha、タマネギ 0.5ha、
はなっこりー0.5ha



農場の全景



農作業の風景（ナス畑の耕起）

〈営農を開始するまでの状況〉

- ・ 創業 60 年の歴史を持つ建設会社であったが、農地の荒廃が目立つようになったため、地元への恩返しとして平成 15 年から農作業の受託を開始
- ・ その後、平成 17 年に農業生産法人を設立し、現在では認定農業者及び特定農業法人にも認定
- ・ 地域の認知を拡げながら、地域の協力を得て円滑な参入を行っている
- ・ 農業機械は、農業を営む社員から譲り受けたり、地域の農家から中古農機を購入した
- ・ 農業大学校の卒業生の採用を行い、新たな就農の受け皿となっている
- ・ 収穫物は、JA を通じた市場出荷のほか、隣接する直売所でも販売

〈特徴的な取組〉

- ・ 経営の多角化
- ・ 水稻に加え、麦、ナス、タマネギ、はなっこり一等へも取り組む。
- ・ 地区ブランド野菜への取り組み
地元が古くから栽培している品目や県の推奨する品目の作付け
- ・ 地域農家との交流
地域農家の共同作業に積極的に参加し、地域農家の理解・信頼を得ている。
- ・ 地下水位制御システム（FOEAS）の活用
ほ場の管理による周年栽培への取り組みと収量・品質の向上を図る。

〈今後の農業経営の展開方向〉

- ・ 設備の充実や地域雇用を増やし、耕作農地を拡大することにより、地域農業の維持発展に貢献する。

〈今後の法人化を進めようとしている方へのアドバイス〉

- ・ 地元地域との調和、協調を図る。
- ・ 地域農産物ブランドがあれば、地域農産物ブランドを継承する。
- ・ 短期ではなく、将来を見据えた長期ビジョンを策定する。



収穫後のはなっこり畑



たまねぎ畑